

坊池 正

www.jimin-kobe.com

発行：自由民主党神戸市議員団 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL 078-322-5846 FAX 078-322-6164

市政報告
地震・台風・大雨
を学ぶ！特集
自民党
2015/10
(西区版)



自由民主党神戸市議員団
坊池 正

プロフィール
現 在 神戸市議員3期(9年)
都市防災委員会
大都市行政制度に関する特別委員会
西区生まれ・育ち！
昭和25年 西区の酪農家に生まれる
昭和38年 神戸市立神出小学校卒業
昭和40年 神戸市立神出中学校卒業
昭和43年 兵庫県立三木高等学校卒業
昭和45年 消防吏員 拝命
昭和57年 専任救助隊(隊長も務める)
平成19年 神戸市消防局 退職
平成19年 37年間の消防吏員を経て
神戸市議員当選

ご挨拶

時下益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

4月の神戸市議員選挙におきましては、6747票にて当選を果たし、市議3期目をスタートする事が出来ました。ひとえに皆様のご厚情のおかげと心から感謝申し上げます。

5月からは神戸市議会を新たにリードする市会最大会派成立の想いで「自由民主党神戸市議員団」に会派移籍を行った後に、前会派での政務調査費問題では多大なご迷惑をお掛けしたことにお詫び申し上げます。まだ不明瞭な部分も残っておりますが、この問題責任も含め、今後の議員活動において、信頼回復に努めて参りたいと考えます。

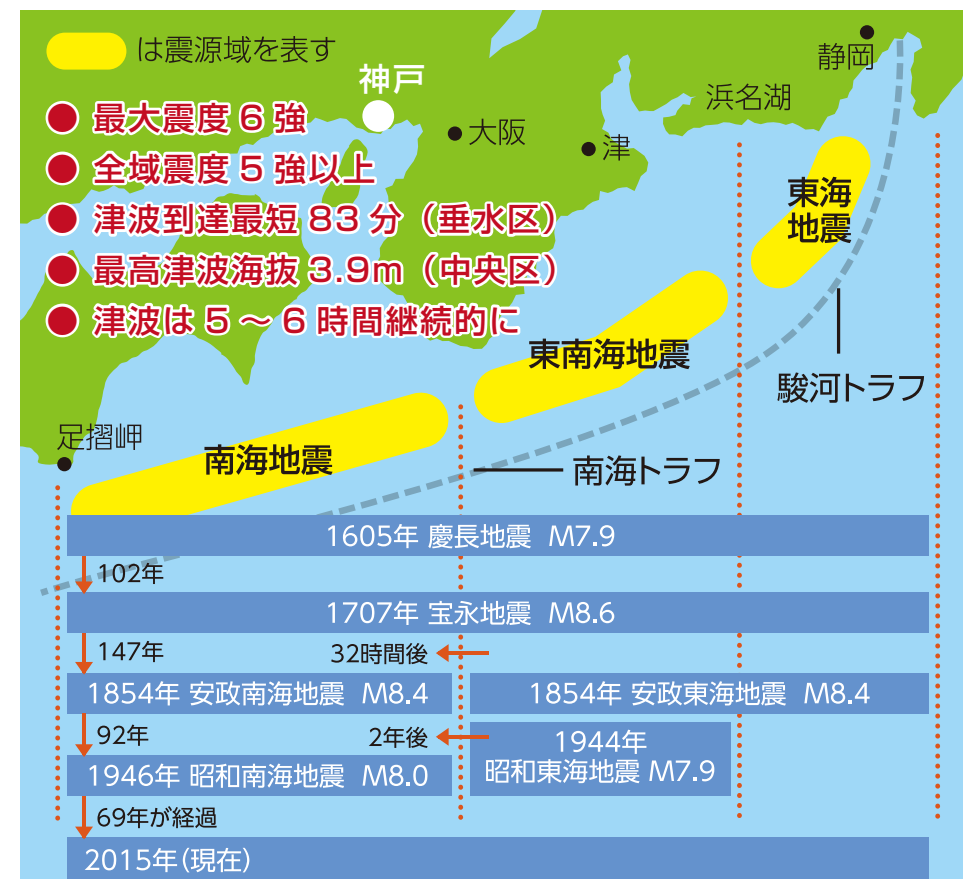
さて、この度の市政報告では、平成26年8月の広島での土砂災害の教訓を踏まえ、土砂災害の恐れのある地域とその周辺の住民を対象に、土砂災害警戒区域や緊急避難場所などを分かりやすく記載した神戸市の「土砂災害 わが家の避難マップ」と「くらしの防災ガイド」を基本に、南海トラフ巨大地震、内陸直下型地震、台風、大雨に対する初期行動や地震・台風・大雨のメカニズムなどをわかりやすく簡単に記載させて頂きました。「土砂災害 わが家の避難マップ」を併用して、災害について確認をして頂けたら幸いです。

今後とも変わらぬご理解、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

神戸市議員 坊池 正

明日かもしれない、南海トラフ巨大地震

過去の歴史から、南海トラフを震源域とする巨大な地震が100～150年間で繰り返し発生しています。前回の発生から約70年が経過し、今後30年以内の発生確率は、南海トラフ沿いのどこかでM8以上の地震が発生する確率が70%程度とされています。南海トラフ地震が発生したとき神戸は、最大震度6強・全域で5強以上ゆっくりとした大きな揺れが1～2分以上続きます。



過去発生した地震の周期などからの試算では、今後30年以内にマグニチュード8以上の地震が発生する確率 **70%程度**

※「くらしの防災ガイド」資料抜粋

内陸直下型地震にも注意が必要です

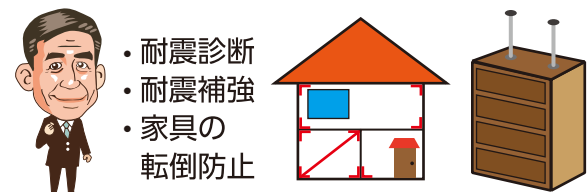
内陸直下型地震は、活断層が動いて発生する地震です。プレート境界型地震に比べると規模は小さいですが、内陸部が震源地になることから、阪神・淡路大震災のように震源に近い地域に大きな被害をもたらします。この型の地震は予想が難しく、阪神・淡路大震災発生直前の30年以内の発生確率は0.02%～8%でした。神戸市付近には阪神・淡路大震災の原因となった「六甲断層帯」以外にも「有馬高槻構造線」や「山崎断層」があり、常に注意が必要です。



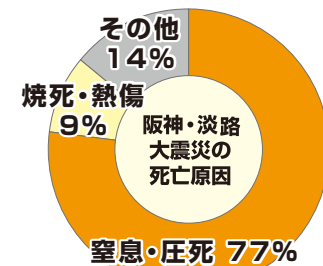
家庭内防災に取り組みよう

阪神・淡路大地震では、瞬時に住宅が崩壊し、その下敷きになって亡くなった方が約8割を占めました。二度と繰り返さないために、これから発生が心配される地震にそなえて、住んでいる家や建物を丈夫にしておくことです。

■ 地震に強い家づくり、部屋づくりをしよう



神戸市では昭和56年以前に着工された住宅には、無料耐震診断や耐震改修工事費の補助を行っています。その他に家具固定費用の補助や専門員派遣なども行っています。(すまいるネット TEL:222-0186)



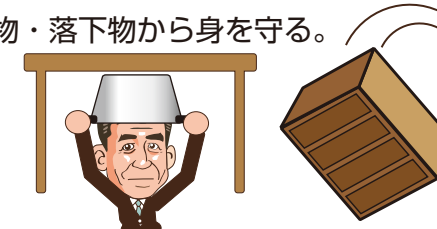
明日かもしれない、南海トラフ巨大地震が発生した場合の行動

自宅で地震に遭った時は

身の安全を守る

頭を最優先に守るため、転倒物・落下物から身を守る。

- 机の下にもぐる。
- 銅や座布団で頭を守る。
- 倒れやすいタンスや本棚、窓ガラスなどから離れる。



トイレや風呂場にいる場合は、すぐドアを開けて逃げ道を確保。

地震が収まった直後の行動

落ちついて火の元を確認

火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をしましょう。出火した場合は、落ちついて消火器で消火してください。



家族の安全確認

揺れがおさまったら、家族、とくに高齢者、幼児、病人などを保護しながら避難を始めます。その場合、室内でもガラスの破片から足を守るため、靴か底の厚いスリッパをはきましょう。



出入り口の確保

玄関やドアが開くか確認、開かない場合は工具などであけましょう。

避難の場合は外の安全を確かめる

あわてて飛び出しでは危険です。瓦、窓ガラス、看板などの落下物に十分に注意して出ましょう。



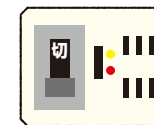
マンションやビルでの避難の場合

エレベーターは使用しないで、階段で降りましょう。

地震が収まり、避難する場合

避難の前に火の始末と電気・ガスの安全確認

避難が必要ときには、火の始末に加え、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう。非常持ち出し袋も忘れぬようにしてください。



正しい情報を得て、確かな行動を

ラジオやテレビ、防災行政無線スピーカーなどから正しい情報を得て、確かな行動をしましょう。

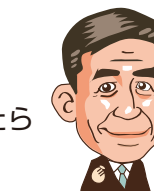


近隣の安否を確かめ合いながら避難所へ

避難所まで距離のある郊外を除き、車は使わず徒歩で非難し広い道を通るようにしてください。狭い道は倒壊物により遮断されたり、火災の危険があります。わが家の安全を確認後、近隣の安否の確認も行いましょう。

協力し合って救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を発見したら近隣で協力し、救出、救護しましょう。



街の中で遭遇した場合

ビル街の場合

窓ガラスの落下を避けるため、頭をおおって近くのビルへ逃げ込むと安全です。ビル内でもガラスのそばは避けてください。ビル内に逃げ込めない場合は、ビルからはなれた街路樹などに身を寄せましょう。



デパート・スーパーの店内の場合

大きな商品や、ガラスショーケースのそばは早く離れ、太い柱や壁際、踊り場などに身を寄せましょう店内放送や店員の誘導に従いましょう。

海岸付近・水辺の場合

1分以上続く地震の揺れを感じたら、津波を想定した避難行動をとり、速やかに徒歩で地盤の高いエリアへ避難しましょう。

地下街の場合

地下は構造が頑丈なので比較的安全ですが、地下街で最も怖いのは、地震による被害よりも停電などによるパニックです。非常用の電気がつくまで、壁や大きな柱に身体を寄せて様子を見ましょう。

エレベーターの場合

揺れを感じたら、全ての行き先階ボタンを押し、最初に停止した階で降りましょう。万一閉じ込められてしまったら、室内にあるインターホンで通報してください。無理に脱出をしようとすると大変危険ですので、状況を正確に通報し、外部の救助を待ちましょう。

乗り物で遭遇した場合

電車・地下鉄の場合

地下鉄は震度4で自動的に停車します。建築構造も強震に耐える強度で、停車してもバッテリーが作動します。勝手に窓を破ったり、非常コックを開けて外に出ずに、車掌の指示に従いましょう。

マイカーの場合

地震を感じたら、徐々にスピードを落とし、左に寄って停車してください。車を離れる場合は、駐車場や空き地に駐車するか、駐車できない緊急車両の通行の妨げにならないように左側に駐車しロックをしないでキーを付けたままにしましょう。また、カーラジオで情報を把握しましょう。

帰宅困難者にならないための心がまえ

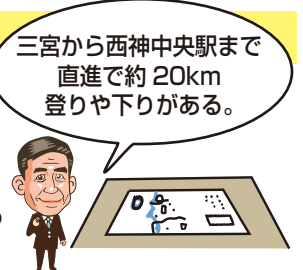
徒歩帰宅は、10km、2時間以内まで

オフィスで震災に遭った場合、交通機関の復旧の目処が立たないと、徒歩の帰宅を考えますが、10km以上、時間にして2時間以上の歩行は、よほど体力に自信がある人でないかぎり、あきらめたほうが賢明です。さらに、自宅までのルートを把握していること、靴や水、食料などの装備が整っていることが、徒歩で帰るための必須条件です。途中でまた地震に遭うかもしれないし、道に迷うかもしれないので、最悪の事態でも身を守れる装備が整っているかを確認してください。

帰宅困難者のためのポイント

- 携帯ラジオを常備する
- 帰宅地図を作成する
- ロッカーにスニーカーを入れておく
- 体力維持のために、食料や水を備える
- 日ごろから歩いて帰る訓練を
- 季節に応じた冷暖の準備(携帯カイロやタオルなど)
- 声をかけ合い、助け合う
- 帰宅するべきか、留まるべきかの冷静な判断

※参考資料：土砂災害「わが家の避難マップ」・「くらしの防災ガイド」



お問合せご相談は
神戸市議員

坊池 正

ぼういけ だし
まで

651-2311 神戸市西区住神出町東100
TEL 078-965-0400 FAX 078-965-0400
E-Mail bouike@nifty.com

台風・大雨を知り災害に備える（台風が神戸の西側通過時は要注意!!）

✓ 台風とは

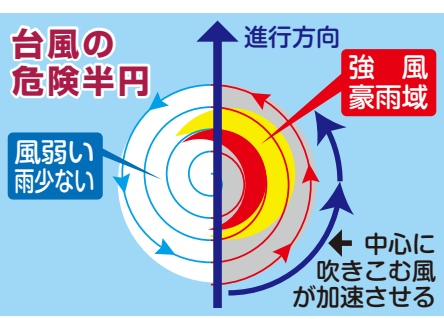
台風とは、熱帯の海の上で生まれた低気圧です。その熱帯低気圧のうち、最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s以上のものを「台風」と呼びます。



| 階級 | 最大風速 |
|-------|---------------|
| 強い | 33m/s ~ 44m/s |
| 非常に強い | 44m/s ~ 54m/s |
| 猛烈な | 54m/s 以上 |

✓ 台風の「危険半円」とは

北上する台風の右半円では、中心に吹きこむ風と台風の進行方向が重なるため、風がより強くなります。このため台風の右側は「危険半円」とも呼ばれています。



✓ 台風の「風速と被害の目安」とは

| 平均風速 | 風速と被害の目安 (平均風速は10分間の平均です。瞬間風速は平均風速の1.5~3倍程度) |
|----------|--|
| 10~15m/s | 樹木が激しく揺れ、電線などが鳴る。雨傘が壊される。 |
| 15~20m/s | 雨戸やシャッターが揺れる。子供は飛ばされそうになる。 |
| 20~25m/s | 樹木が折れる。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。 |
| 25~30m/s | ブロック塀が壊れる・走行中のトラックが横転する。 |
| 30以上~ | 屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。 |

普段からできる防災対策とは

✓ 家の外の備えは十分に

水害に備え、側溝や排水溝の掃除をし、水はけをよくしておきましょう。また、屋根、塀、壁などの点検、補強も台風が来る前に。

✓ 非常用品を備蓄

ライフラインが途絶えたときの事を想定して、非常用品を備えましょう。

- 懐中電灯 (予備電池)
- 携帯ラジオやワンセグ携帯 (充電器)
- 着替え タオル 軍手
- ライター・マッチ ティッシュ
- 救急薬品・常備薬 防寒具・雨具
- 貴重品 (公衆電話に使える10円玉)
- 非常食用料・水 歯ブラシ
- ハザードマップ「わが家の避難マップ」

✓ 家族で話し合う

家族で緊急連絡手段や落ち合う場所などを話し合しましょう。

✓ ハザードマップを入手

家の近くに洪水のおそれのある河川があったり、低地、急傾斜地で水害や土砂災害のおそれがある場合は事前にハザードマップなどを入手しておきましょう。

ハザードマップは、区役所・出張所にてお住まいの地域をお伝えください。(西区版 全9地区)

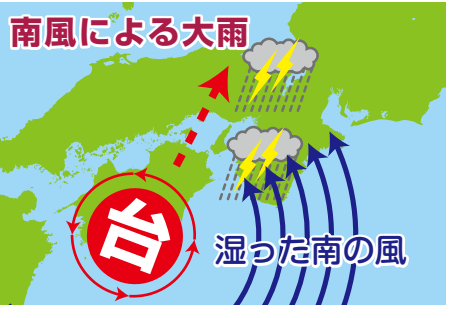
✓ 近隣の建物や道路を知る

✓ 近所の方とコミュニケーションを取る

ご近所付き合いは、救助や避難所暮らしの際に大きな力となります。

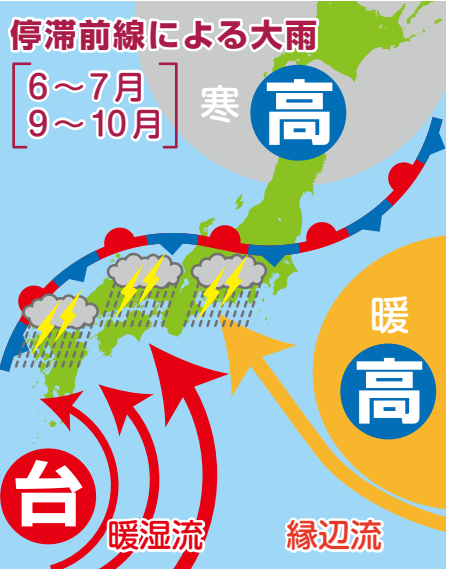
✓ 大雨 (台風と南風)

台風の進行方向右側の地域では、大雨に対するより一層の警戒が必要です。台風による南よりの暖かく湿った強風が、南~南東の斜面に吹き込み、雨雲を非常に発達します。このため、激しい雨を降らせることがあります。



✓ 大雨 (台風と停滞前線)

日本列島に前線が停滞 (梅雨前線・秋雨前線) するときは、台風から離れていても前線付近で大雨となることがあります。これは停滞前線に向かって、台風や太平洋高気圧から暖かく湿った空気が流れ込むことで、前線の活動が活発となるためです。前線+台風のパターンときは、必ず最新の気象情報を確認し、大雨による河川の増水や氾濫、土砂災害に警戒してください。



✓ 大雨の雨量とは

| 雨量 | 雨量のイメージと実際 |
|---------|-------------------------------|
| 10~20mm | 地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 |
| 20~30mm | 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。 |
| 30~50mm | 山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、下水管から雨水があふれる。 |
| 50~80mm | マンホールから水が噴出、地下街浸水、土石流が起こりやすい。 |
| 80以上~ | 大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。 |

台風・大雨が接近する前に

✓ 最新の台風情報の確認をする

テレビ・ラジオ・インターネットでは台風の進路予想が定期的に更新されますので、大雨や暴風などの警報・注意報や、天気予報、雨雲の動きなども、こまめに気象情報を確認してください。

台風が神戸の西側を通過する時は注意が必要です。

✓ 家の周りの再点検をする

家の周りにあるもので強風などによって飛ばされる可能性のあるものは、室内にしまおうか、しまうことが出来ない場合は飛ばされないようにしっかりと固定しましょう。

✓ 窓や雨戸を補強する

ガラスのひび割れや窓枠のガタつきがないか調べ、窓にテープを貼るなどして補強しましょう。万が一、窓ガラスが割れた時のために、カーテン等を閉めておくとも良いでしょう。

✓ 床上の浸水対策をする

家財や家電などは浸水の被害を受けないように、高所や二階に移動、電気のコンセントは漏電、ショート、感電などが発生する可能性がありますので、コンセントは抜き、低い位置にあるものは高所へ移動させましょう。

✓ ライフライン断絶に備える

断水に備えて飲料水を確保しましょう。浴槽に水を張るなどしてトイレなどの生活用水を確保しましょう。避難に備え、非常持ち出し品を準備しましょう。

台風・大雨による土砂災害の際の避難行動

✓ テレビ・ラジオ・防災行政無線スピーカーからの避難情報を確認する

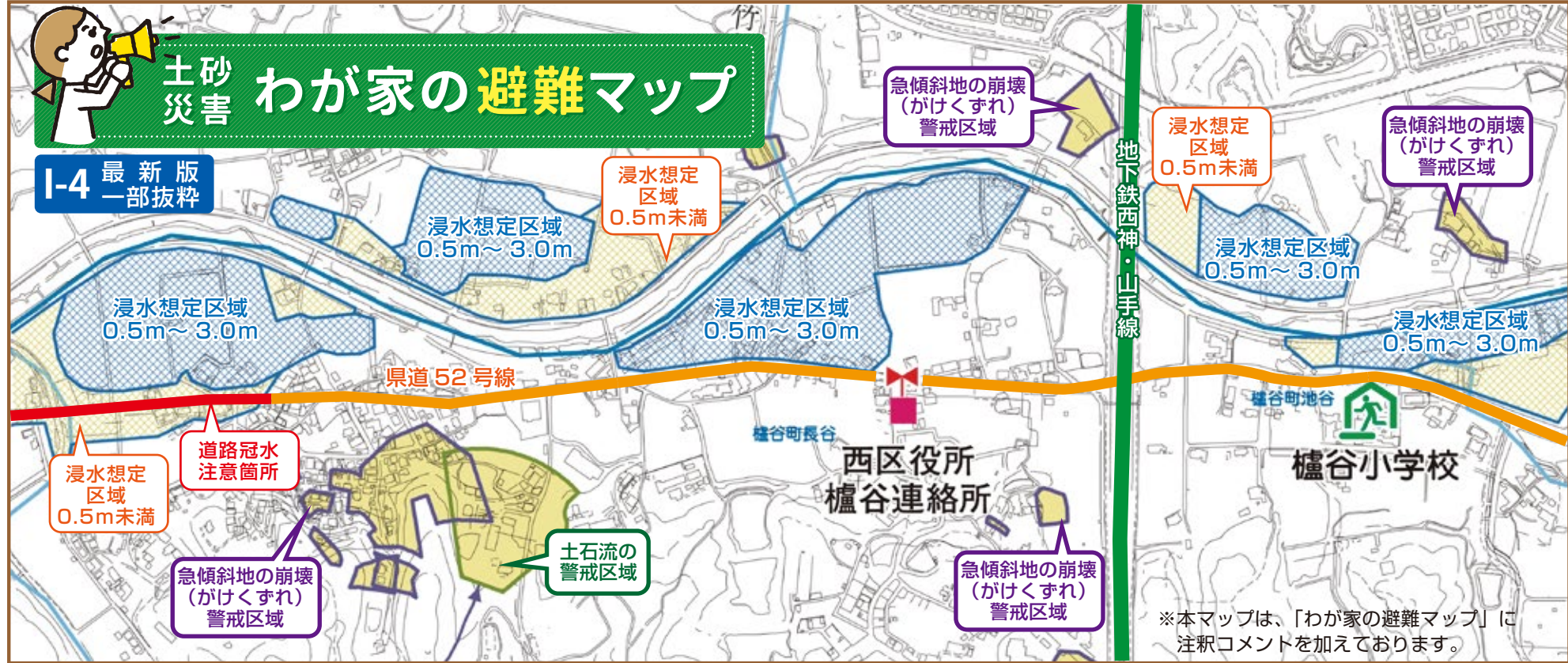
災害発生時の避難情報や避難所開設情報 神戸市災害ナビダイヤル TEL: 0570-078-500 防災行政無線スピーカーの情報が聞けます。

避難準備情報 要注意
状況 大雨や暴風が続くと見込まれ、土砂災害や洪水が発生する可能性が高まっている状況
アクション いつでも避難できるように準備、避難に時間がかかる方は避難を開始

避難勧告 警戒
状況 土砂災害、洪水などが発生するおそれがあり、命が危険にさらされる可能性が高まっていて、避難が必要
アクション すみやかに、安全な場所への避難を開始

避難指示 危険
状況 災害の前兆現象が発生、切迫した状況から命が危険にさらされる可能性が非常に高まっている状況
アクション ただちに安全な場所へ避難、状況によっては、命を守るために「屋内安全確保」などの行動を行動をとる

■ 屋内安全確保 (逃げ遅れた場合) ■
 避難が困難 (夜間で視界が悪い)、逃げ遅れた場合は、建物の2階以上で、浸水や土砂が流れ込む恐れのない、安全な場所に避難する。特に土石流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上階に避難する。



わが家の避難マップでチェック

- ① 土砂災害「わが家の避難マップ」を手元に (西区版は全9地区に分割されています。区役所が出張所にて)
- ② 自宅位置をチェック
- ③ 自宅周辺の危険なエリアをチェック
- ④ 緊急避難場所等の避難先をチェック
- ⑤ 避難先までの避難ルートをチェック
- ⑥ 実際に歩いて、避難ルートをチェック

イエローゾーンとは

土砂災害防止法 (通称) に基づき基礎調査を実施し、土砂災害の恐れがある区域等を把握したうえで、土砂災害警戒区域 (イエローゾーン) 及び土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) の指定を行なっています。(レッドゾーン) は神戸市内では指定されていません。

✓ 台風・大雨が接近時の事故を未然に防ぐ

- 用水路の見回りは絶対にやめましょう
- 海岸の見回りは絶対にやめましょう
- 屋外での作業は絶対にやめましょう
- 外出は控えましょう
- 地下街・地下空間を利用するのは控えましょう

✓ 土砂災害の前兆現象を知って確認する

土砂災害は、いつ起こるか分かりません。気象情報や避難情報だけでなく、土砂災害の前兆現象などにも気を付けて、避難の判断をしましょう。

| 急傾斜地の崩壊 (がけくずれ) の前兆現象 | 土石流の前兆現象 | 地すべりの前兆現象 |
|-----------------------|-----------------|----------------|
| がけに割れ目が見える | 山鳴りが聞こえる | 細い川や井戸の水がにごる |
| がけから水がふきだす | 急に川がにごり流木が混ざりだす | 斜面や地面にひび割れができる |
| がけから小石がバラバラ落ちる | 雨続きなのに川の水位が下がる | 斜面から水が噴き出す |

※「わが家の避難マップ」資料抜粋

※「わが家の避難マップ」資料抜粋

※ 浸水想定地域は、100年に1回程度の確率で発生する豪雨の際に、一・二級河川からあふれた水により、浸水することが想定されている区域ですがイエローゾーンは、突発的な豪雨により起こる可能性がございます。